

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 国際・地域連携センター ニュースレター 〈第15号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

## はじめに

### 知事との「対話と実行座談会」

高知県は「対話と実行」の県政を進めるため、知事と県民が県政の課題について意見交換する「対話と実行座談会」を開催しています。

平成24年度第1回目は8月1日(水)に高知城ホールにて「地域地域で産業振興に取り組む実践者を広げるために」をテーマに開催されました。産業振興に取り組む実践者や土佐経済同友会代表幹事、大学関係者としては受田センター長が登壇し、産業界・大学・行政がそれぞれの立場で実践者とどのように関わり、その取り組みを支援していけるかについて議論されました。

今後、以下のスケジュールで開催予定であり、各回事前に広く意見を募集しています。また、参加も自由となっておりますので、興味のある方は是非ご参加ください。

第2回 「中山間を支える絆のネットワーク」の構築(平成24年8月31日)

第3回 地域包括支援ネットワークシステムの構築に向けて(平成24年11月14日)

第4回 園芸農業の産地力強化(平成24年12月1日)

### 目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 平成24年度 秋の公開講座概要

Topic2. 出張版 土佐FBC

p4 産学官連携部門

Topic1. ビジネスパートナーとの出会いの場

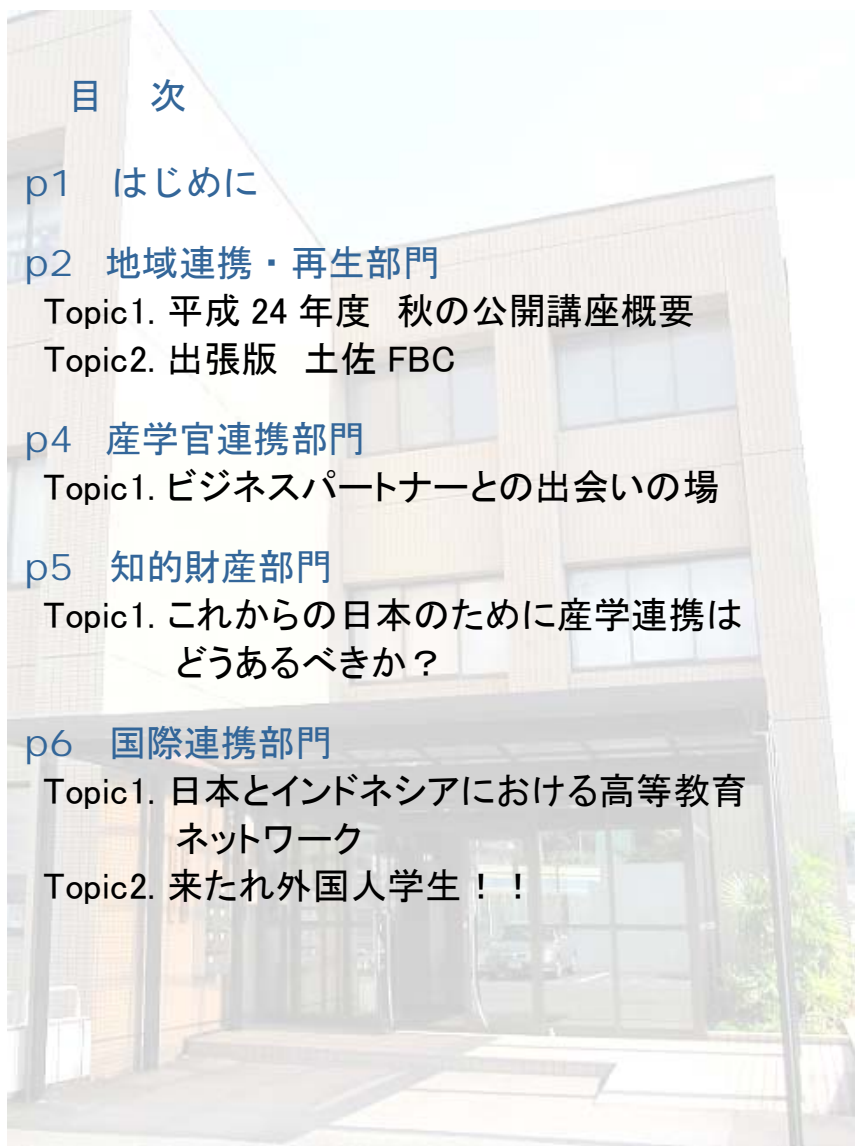
p5 知的財産部門

Topic1. これからの日本のために産学連携はどうあるべきか?

p6 国際連携部門

Topic1. 日本とインドネシアにおける高等教育ネットワーク

Topic2. 来たれ外国人学生！！



## Topic 1. 平成 24 年度 秋の公開講座の開催概要 ～講座内容 一層多彩に～

### 第 1 群:一般教養、現代テーマ等

企画公募型の第 1 群について、6 月 1 日～7 月 2 日まで募集しておりました。その結果、学内から 7 件の提案をいただきました。

・高知大学会場(朝倉キャンパス)

講座名	講師	開講日	曜日	時間帯	備考
グラフィックデザインを楽しむ	吉岡 一洋	10 月 19 日～11 月 16 日 (全 5 回)	金	夜間	募集人員 10 名
書道入門	北川 修久	11 月 2 日～11 月 30 日 (全 5 回)	金	夜間	募集人員 10 名
日本画を描く	野角 孝一	11 月 5 日～12 月 3 日 (全 5 回)	月	夜間	募集人員 10 名
実践中国語	王 永東	11 月 7 日～12 月 5 日 (全 5 回)	水	夜間	募集人員 15 名
「運動初心者大歓迎！ 中高年のウェストシェイプ」	常行 泰子	11 月 22 日～12 月 20 日 (全 5 回)	木	昼間	募集人員 20 名
高知大学テニスアカデミー	宮本 忠男 他	10 月 6 日～12 月 22 日 (全 12 回)	土	昼間	募集人員 20 名 小・中学生及び その保護者

・高知市内会場(イオンモール高知)

講座名	講師	開講日	曜日	時間帯	備考
土佐のさきがけ＝暮らしを醸 (かも)す！ ～縄文時代から続く照葉樹林 文化圏の“醸し”の食生活～	永田 信治	10 月 5 日～10 月 29 日 (全 4 回)	月・木 ・金	夜間	募集人員 30 名

### 第 2 群:高知大学・高知市共催公開講座

高知市中心地で 2 年継続した第 2 群は、市の需要に応えるため、今年度は新たな地区(鏡地区、土佐山地区、春野地区)での開講を企画しています。現在、講座内容を調整しております。

### 第 3 群:「環境」に関する人材育成を目的:パラタクソミスト(準分類学者)養成講座

3 年目を迎えた第 3 群は、獣医師の伊藤圭子先生をお招きし、鳥類組立骨格標本を取り上げます。

・高知大学会場(朝倉キャンパス)

講座名	講師	開講日	曜日	時間帯	備考
自然の記録を残す人をつくる —生物標本作成講座(鳥類組 立骨格標本)—	谷地森秀二 伊藤 圭子	12 月 2 日～12 月 3 日 (全 4 回)	日・祝	昼間(初回 3h 第 2 回以降 6h)	募集人 員 15 名



## Topic 2. 出張版 土佐 FBC

## ～平成 24 年度 土佐 FBC 幡多教室 開講～

食品産業の人材育成事業である土佐フードビジネスクリエーター(FBC)は、現在、物部キャンパスを中心に実施しています。一方、県西部の幡多地域は、農水産業が盛んであり、それを素材・原料として活用する多数の食品関連企業や食品加工を行っている方々がおられ、食品関連の教育研修ニーズが存在します。しかし、同地域からは土佐 FBC の講義が行われている物部キャンパスへの通学は時間的に難しい現状があります。

こうした現状を踏まえ、平成 23 年度から幡多地域において通常のカリキュラムとは別に食品の基礎知識を学ぶことに主眼を置いた教育プログラム「土佐 FBC 幡多教室」を実施しています。平成 24 年度は 7 月 17 日まで受講生を募集し、24 名を迎え入れることとなりました。7 月 21 日に四万十市立中央公民館にて開講式を行い、9 月 30 日まで 33 コマ(1.5 時間/コマ)を実施する予定です。



土佐 FBC 開講式

受田センター長による  
初回講義「食品化学」



## Topic 1. ビジネスパートナーとの出会いの場 ～産学連携マッチングのための展示会出展者募集～

**テクニカルショウ ヨコハマ 2013** 2013/ 2/6(水) 7(木) 8(金)  
パシフィコ横浜展示ホール C-D

神奈川県内最大の工業技術・製品に関する総合見本市として、テクニカルショウヨコハマ 2013 が下記のとおり開催されます。

第 34 回目となる今回は、「未来につながる新たな技術」をテーマに、「ビジネスソリューション」、「生産（加工技術）」、「生産（機器・装置・製品）」、「環境・エネルギー／福祉」、「産学公・企業間ネットワーク」の 5 つの出展分野を設け、技術革新、商品開発、新市場の開拓に取り組んでいる皆さまに、独創性、先進性に富んだ最新の技術・製品や研究成果を発信する場となります。

新技術・新製品発信の場、新規顧客獲得や具体的な商談の場、活発な技術交流や情報収集・交換の場として、ぜひとも「テクニカルショウ ヨコハマ 2013」にご出展くださいますようお願い申し上げます。

会期：2013 年 2 月 6 日(水)～8 日(金)

会場：パシフィコ横浜 展示ホール C・D（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

### 《出展決定済み、調整中の展示会》

・イノベーションジャパン 2012 -大学見本市（同時開催：第 11 回産学官連携推進会議）

我が国の産学連携を強力に推進するための、国内最大規模の産学マッチングの場

会期：2012 年 9 月 27 日(木)～28 日(金)

会場：東京国際フォーラム

出展：「細胞膜上の集合分子を一括標識できる新規標識方(EMARS 法)」 基礎医学部門 本家孝一教授

・第 2 回おおた研究・開発フェア

新技術や新製品、研究開発成果を PR し、今後の共同研究・製品開発・用途開発などを来場者に働き掛け、産産連携・産学連携を目的とした展示会

会期：2012 年 10 月 4 日(木)～5 日(金)

会場：大田区産業プラザ PiO 1 階大展示ホール

出展：「冷凍食品の偽装防止管理技術に関する研究」 農学部門 河野俊夫教授

・アグリビジネス創出フェア 2012

全国の産学官の各機関が有する、農・林・水産・食品分野などの最新技術や研究成果を分かりやすく展示し、研究機関間、研究機関と事業者との新たな連携を促す場として開催する「技術・交流展示会」

会期：2012 年 11 月 14 日(水)～16 日(金)

会場：東京ビッグサイト

出展：調整中

・ものづくり総合技術展

県民の皆様に県内企業等の優れた製品や最新技術に対する理解を深めていただくとともに、企業同士の交流を通じ、新たな製品開発や取引の拡大、ひいては新たな技術革新を促すことを目的とした展示会

会期：2012 年 11 月 29 日(木)～12 月 1 日(土)

会場：高知ぢばさんセンター

出展：「産学連携による事業化・商品化事例の紹介」 国際・地域連携センター

Topic 1. これからの日本のために産学連携はどうあるべきか？  
 ～UNITT Annual Conference 2012 開催～

**UNITT Annual Conference 2012**

University Network for Innovation and Technology Transfer Association, Japan

◇一般社団法人大学技術移転協議会◇

来る9月14日(金)～15日(土)の2日間、「UNITT Annual Conference 2012(一般社団法人大学技術移転協議会主催)」が、芝浦工業大学(東京都江東区)を会場に開催されます。

UNITT アニュアル・カンファレンスとは、大学技術移転における諸課題について、講師と会場参加者の双方から討議するセミナーです。全国の産学連携関係者等が一堂に会して、スキルアップ、ネットワーク作りと情報交換の場を形成しています。昨年までは、産学連携実務者ネットワークと呼んでいましたが、9回目を迎え本セミナー名称も改称されました。

本年度は、「これからの日本のために産学連携はどうあるべきか？原点に振り返る」を全体セッションテーマに、「ギャップファンドの導入：海外ギャップファンド調査報告を踏まえて」、「リサーチ・アドミニストレーターの未来を考える」、「中国企業へのライセンスに関する留意点」、「特許のバンドル機関と大学(日本弁理士会協賛セッション)」等のテーマを取り上げています。また、新たに産学連携の仕事をする方やスキルアップを志望している方に対して役立つよう、これまで取り上げていた「特許基礎講座」、「共同研究基礎講座」の他に「著作権基礎講座」や「ライセンス基礎講座」を加えたセッションも開講されます。

2日間で大学の産学連携の諸課題が俯瞰できるプログラムとなっておりますので、興味、関心のある方はご参加下さい。なお、応募方法、プログラム等の詳細については、大学技術移転協議会ホームページ(<http://unitt.jp/>)をご覧ください。

9月14日	10:30-12:30	全体：ポスト自立化支援プログラム			
	13:30-15:30	安全保障貿易(輸出)管理と生物多様性条約について	海外のギャップファンドと日本のギャップファンド	MIT ロバート・ランガー教授のケースメソッド(技術移転や研究マネジメントのケースメソッド)	特許基礎講座：弁理士会協賛セッション
	16:00-18:00	デザインの産学連携 契約締結の実務	海外企業へのアプローチ方法	新規事業/ベンチャー支援、大学は何が求められているか?	共同研究基礎講座
9月15日	10:00-12:00	大学の特許をもとに共同研究がスタートする際に、ライセンスと共同研究をどのようにマネージすべきか?	中国企業へのライセンスリスクについて考える	特許のバンドル機関と大学：弁理士会協賛セッション	著作権基礎講座
	13:30-15:30	URAの実務	MTAは本当に要るのか? 今の方法でよいのか?	案外できるぞ医療機器の産学連携	ライセンス基礎講座(マーケ&条件設定)

## Topic 1. 日本とインドネシアにおける高等教育ネットワーク ～第2回 SUIJI セミナー 開催～

平成 24 年 7 月 3 日(火)にインドネシアのボゴールで開催された第 2 回 SUIJI(Six University Initiative Japan Indonesia)セミナーに脇口学長、櫻井理事ほか 6 名が参加しました。SUIJI は、インドネシアの 3 大学(ボゴール農業大学(IPB)、ガジャマダ大学(UGM)、ハサヌディン大学(UNHAS))と日本の 3 大学(高知大学、愛媛大学、香川大学)で構成され、共同研究や共同教育などを通じて各大学が持つ教育研究拠点を連携させることにより、熱帯地域の農業発展及び生物資源の保全、ひいては地球規模の環境問題に貢献することを目的としています。

セミナーは、「日本とインドネシアにおける高等教育ネットワークを通じた持続可能な熱帯農業の促進」をテーマに基調講演、一般講演、学長フォーラム、研究者フォーラムなどが行われました。学長フォーラムでは、将来の連携に向けた政策と戦略について議論がなされ、脇口学長をはじめ各大学からの提案や報告発表の後、活発な意見交換が交わされました。また、インドネシアの学生による民族舞踊や民族衣装の Batic も披露され、最後に来年度開催当番となる本学から櫻井理事が閉会挨拶を行いました。



6 大学長等による記念撮影

(左から UGM、愛媛大、IPB、高知大、UNHAS、香川大)



SUIJI セミナー参加者による記念撮影

## Topic 2. 来たれ外国人学生！！ ～外国人学生のための進学説明会～

日本学生支援機構(JASSO)主催の外国人学生のための進学説明会に教職員 3 名が参加しました。進学説明会は、大学等への進学を目指している外国人学生等が、進学希望にあった大学等を選択するための教育、研究上の情報提供を行うことを目的として実施されました。

7 月 14 日(土)大阪(本学ブース訪問者:54 名)、7 月 15 日(日)東京(本学ブース訪問者:53 名)で行われた説明会には、多くの学生が訪れ、情報提供に熱心に耳を傾けていました。積極的に質問をする学生も多く見受けられ、この中から高知大学への留学が期待されます。



大阪での説明会の様子



東京での説明会の様子